

令和5年度

自己評価 報告書

令和6年（2024年）3月31日

ループインターナショナル日本語学校

ループインターナショナル日本語学校の自己点検及び自己評価の実施について

実施時期	毎年、年度末の3月末日に実施する。
実施主体	学校評価委員会を設置し、委員会が実施主体としてこれを実施する。
委員会の構成員	事務局長を委員長として、以下常勤の全教職員で構成する。
点検・評価項目	法務省により「日本語教育機関の告示基準」を参考とし、別紙の基準及び点検項目に沿って、点検・評価を行う。
点検・評価の方法	事務局長、校長を含む各委員に別紙の点検項目に対し、所定の用紙に3段階で項目ごとに評価を行い、その評価を集計し、「成果・課題」を分析する。 項目については、委員会にて改善策を議論し、提言し、来年度の重点目標に掲げる。 以上のことを報告書として纏め、自己評価とする。 A：達成されている。 B：ほぼ達成されているが、不十分なところもあるので改善に取り組んでいる。 C：達成に向けて取り組んでいる。
結果の公表	自己評価報告書については、事務局長決裁とし、決裁後、本校の設置者である貝塚昭へ提出した上で、次年度8月末日までに本校ホームページに評価報告書を公表する。

令和5年度 自己点検及び自己評価

1. 教育理念・目標・育成人材像 評価

- | | | |
|-----|------------------------|---|
| 1-1 | 理念・目標・人材育成象像は定められているか。 | A |
| 1-2 | 学校の特色は明確か。 | A |
| 1-3 | 学校の将来構想は抱いているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

「和の心」をもった語学教育を通じて、国際交流、グローバル時代に対応した教育を提供し、将来日本、アジア、世界各国の発展に寄与できる人材を育成する。

2. 学校運営 評価

- | | | |
|-----|---------------------------------------|---|
| 2-1 | 学校の理念に沿った運営方針や事業計画が定められているか。 | A |
| 2-2 | 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか。 | A |
| 2-3 | 組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システムは確立されているか。 | A |
| 2-4 | 情報管理などが適正に行われ、業務の効率化が図られているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

運営方針は毎年策定される事業計画の中で方針として位置づけられている。事業計画は教職員が策定し職員会議において決定している。情報システムにおいて、各業務がシステム化され学生の情報を管理する事により業務の効率化推進している。

今年度も新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症拡大防止対策として、各教室に空気清浄器の設置及び消毒液の配置や換気の実施を行った。

自社の校地校舎なので新型コロナウイルスやインフルエンザ感染防止環境対策や教育環境を整備し、運用できるように努めている。

3. 教育活動 評価

- | | | |
|-----|-------------------------------|---|
| 3-1 | カリキュラム構成が教育理念に沿っているか | A |
| 3-2 | 成績評価や修了認定の基準は明確になっているか | A |
| 3-3 | 育成目標に向けた授業を行うことができる教員を確保しているか | A |
| 3-4 | 教員の指導力向上のための取り組みは行われているか | B |
| 3-5 | カリキュラム改善に向けた取り組みが行われているか | A |
| 3-6 | 資格取得のための指導体制は整っているか | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

年度初めに職員会議においてカリキュラム等の確認。体系的なカリキュラムを編成。

定期的な研究授業を実施し教職員の授業力を向上させる。

評価に関しては評価委員会を実施して基準を明確にしている。

今年度も進学セミナー(4大学、8専門学校)を6月に実施した。また次年度に向けた進学セミナーも1月に実施した。

4. 教育成果

評価

- | | | |
|-----|---------------------|---|
| 4-1 | 学生の日本語能力の向上が図られているか | A |
| 4-2 | 進学率の向上が図られているか。 | A |
| 4-3 | 退学率の低減が図られているか。 | A |
| 4-4 | 卒業生の卒業後の状況を把握しているか。 | B |

<現状・具体的な取り組み・課題>

学生の理解度を把握し、各教員が共通理解のもと資格試験に対応した教材の提供等を実施している。
学生の進路希望に合わせ個別の学習状況を把握し適切な進路指導を実施している。

5. 学生支援

評価

- | | | |
|-----|-----------------------------|---|
| 5-1 | 学習や進路指導に対する体制は整備され、機能しているか。 | A |
| 5-2 | 奨学金等の経済的支援が整備され、機能しているか。 | B |
| 5-3 | 健康管理を担う組織体制があり、機能しているか。 | A |
| 5-4 | 学生寮や生活環境への支援が整備され、機能しているか。 | A |
| 5-5 | 防災や緊急時における体制が整備され、機能しているか。 | B |
| 5-6 | 保護者や在日支援者と適切に連携しているか。 | A |
| 5-7 | 卒業生への支援体制はあるか。 | B |

<現状・具体的な取り組み・課題>

教務課において状況を把握し適切に指導が実施されている。
入学後健康診断を実施し、再診が必要な学生においても提携病院で受診できる。学生寮も提携した業者において適切な留学生活が送れるようにしている。
生活安全・防災面においても地元の警察や防災センターにて研修を実施し生活安全・防災意識を高めている。「人と防災未来センター」見学(2月)。気象警報時対策として「SNS」を利用して各学生に指示対応をしている。

6. 教育環境

評価

- | | | |
|-----|--------------------------|---|
| 6-1 | 学校施設や設備は十分であるか。 | A |
| 6-2 | 学校施設や設備は安全に整備されているか。 | A |
| 6-3 | 図書や教材は適切で最新のものを取り入れているか。 | A |
| 6-4 | 学習効率を図るための環境整備がなされているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

学校の建物は自社ビルであり、管理及び保守についても即時対応が出来ている。
教材資材は教務室内の書棚に図書、CD、教材ソフト等も整備できている。
臨時的な授業対応として、リモート授業の確立が出来ている。
学習環境は6階に図書室、5階に進路指導室を設け大学及び各種専門学校への進路に対応している。

7. 学生募集と受け入れ	評価
7-1 学生募集活動は適切に行われているか。	A
7-2 学生募集活動において学校の情報を正確に伝えられているか。	A
7-3 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	A
7-4 生徒納付金の額は適切か。	A

<現状・具体的な取り組み・課題>

学生募集は年2回（4月・10月）実施している。学生の国籍はネパール、ベトナム、インドネシア・カンボジア・ウズベキスタン・モンゴル・ウクライナで他の地域も検討中。入学選考は150時間以上の日本語学習経験があること、12年間以上の教育を受けていること、留学目的がはっきりしており留学期間の経済状況として経費支弁者の協力を得られていること等を主な基準としている。

入学式後にオリエンテーションを実施し学校情報の説明を行っている。

本校の教育理念を理解し勉学意欲が高い学生を募集するため、関係機関と連携してWeb環境を用いた面接やネパールの現地面接を再開し、幅広く学生とのマッチングに努めた。

8. 財務	評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	A
8-2 予算や収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	A
8-3 財務について会計監査は適切に行われているか。	A
8-4 財務情報公開の体制はできているか。	A

<現状・具体的な取り組み・課題>

当校の経営母体である（株）ループ管財は中長期的に見て財務基盤が確立されている。

予算・収支計画のついても理事会で審議され有効かつ妥当なものになっている。

適正な会計処理を行い、監事による会計監査を受け、理事会で監査報告がなされ、承認を受けている。財務情報の公開は検討中。

9. 法令順守	評価
9-1 入管法を中心とした各種法令、設置基準等と適切な運営がなされているか。	A
9-2 個人情報保護に対する取り組みや対策が行われているか。	A
9-3 自己点検・自己評価を実施したうえで結果を公表し、その改善に努めているか。	B

<現状・具体的な取り組み・課題>

法令や関連基準等の規定を違えることなく運営できている。個人情報が含まれるデータについてもコンピューターウイルス対策を定期的実施し、個人情報の保護に努めている。

自己点検・自己評価を実施し、今後、問題の改善に努め、公開していくことが望まれる。

10. 社会貢献

評価

10-1 学校の資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。

B

10-2 学生のボランティア活動を奨励し、支援する体制があるか。

C

<現状・具体的な取り組み・課題>

学校施設の活用や社会貢献、地域貢献は重要事項と認識している。学校のイベントには地域のホールを活用し、地域の方々にも広報している。今後自治会や地域住民の方々との交流やイベント参加を検討し実施していきたい。また、学生ボランティア活動についても支援する体制も検討していきたい。
